

# 1. これまでの検討経過について

# ①平成29年度～令和元年度の振り返り

# 新たな公共交通不便地域対策の方向性について

## ■概要

鉄道駅やバス停留所から遠い「公共交通不便地域」は、区内の20.2%を占めている。

小型バスの導入も困難な狭あい道路が多いことから、ワゴン車を活用した住民主体のコミュニティ交通の検討を進めるため、平成29年度より「砧モデル地区」を指定し、地域の方々と検討をしてきた。

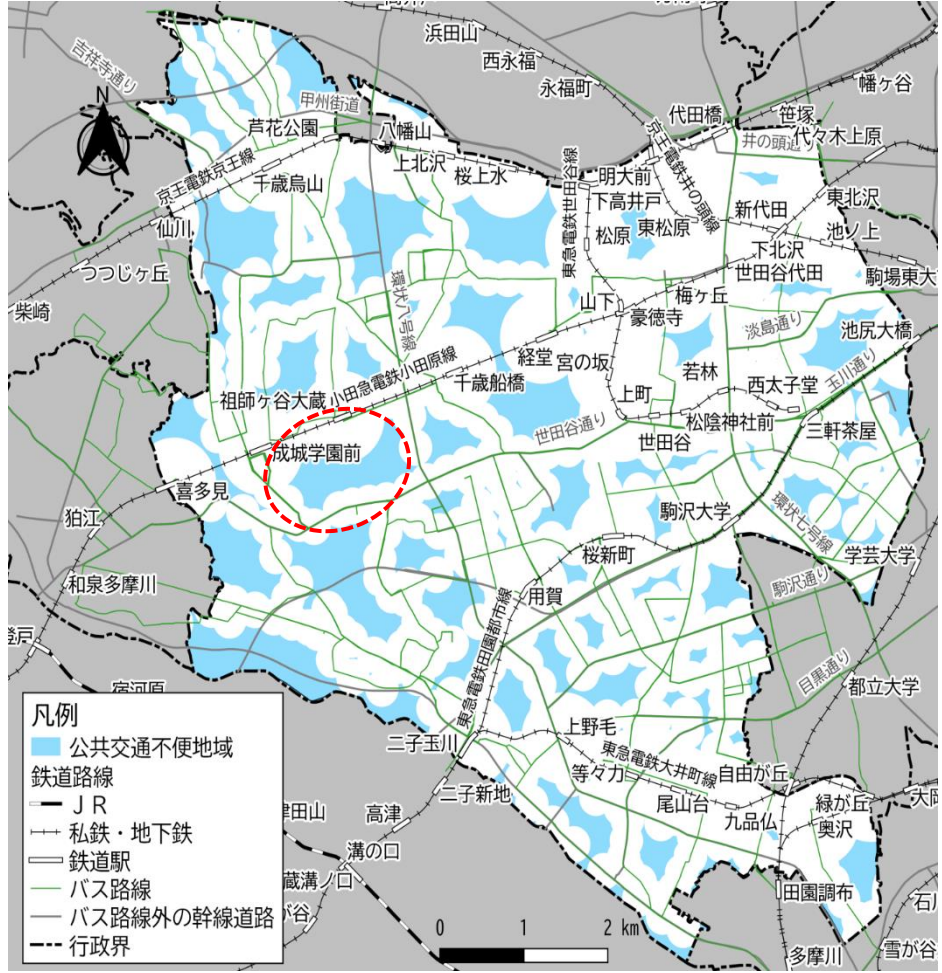
## ■対策の方向性

今後見込まれる超高齢社会や単身高齢者の増加等を踏まえ、住み慣れた地域で自立して暮らし続けられるよう、地域が主体となるコミュニティ交通の導入について、一定の公費負担を伴う新たな公共交通不便地域対策を検討する。

## ■想定される効果

メインターゲットである高齢者が住み慣れた地域で自立して暮らし続けられるよう、買い物等の生活支援や外出機会の確保を狙う。

## 公共交通不便地域



※公共交通不便地域  
 バス停留所から200m以上、鉄道駅から500m以上離れている地域

※ は、モデル地区(砧1～8丁目)

# 砧モデル地区の取組みについて

## ■ 概要

平成29年度より地域の方々とともに住民主体によるワゴン車を活用したコミュニティ交通の実証運行に向けて、アンケート調査等を実施しながら運行計画を検討してきた。

### 【地域との勉強会】



### 【砧地区公共交通協議会】

- 砧町町会 会長 他3名
- 法人格砧町自治会 会長 他1名
- 祖師谷南商店街振興組合 理事長 他2名

## ②令和2年度需要予測アンケート実施結果

# 需要予測アンケート実施概要

## 【配布日】

令和2年7月1日

## 【調査対象者】

運行ルート（案）沿線200mの番地に在住の18歳以上の区民3,000人

## 【調査対象者の抽出方法】

以下の区分で住民基本台帳から無作為抽出

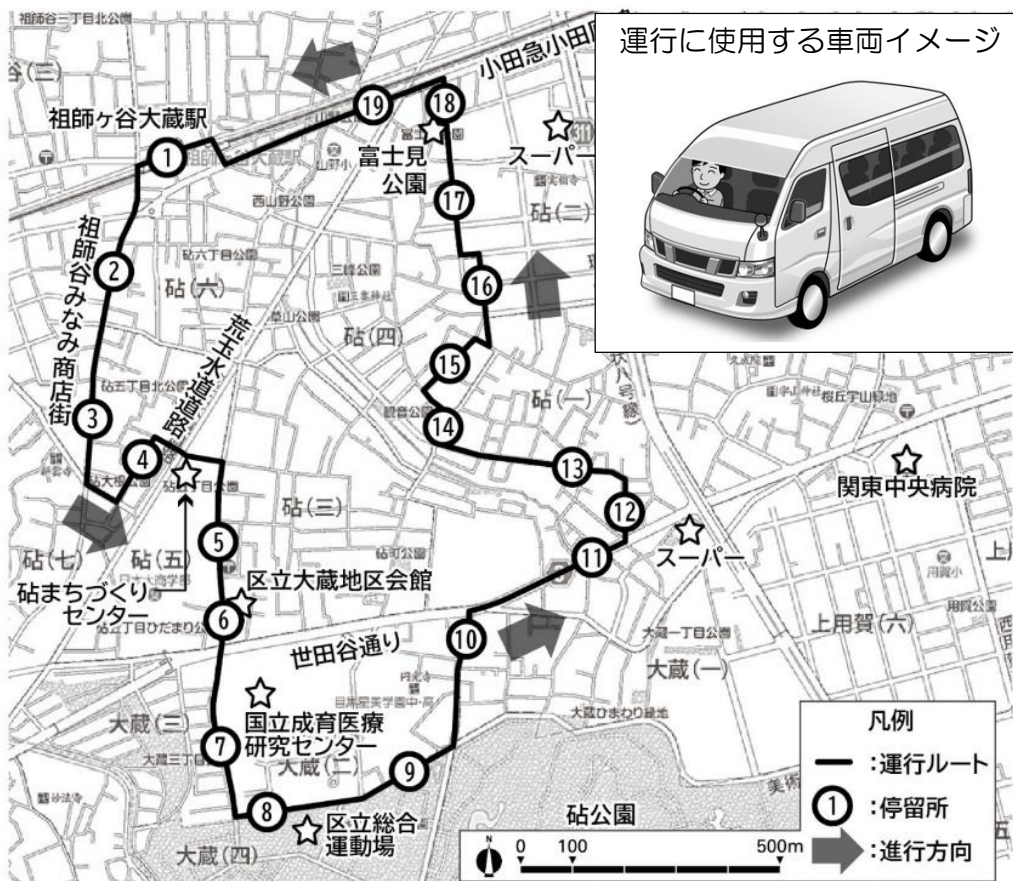
年齢	配布数	回収数	回収率
18～64歳の方	1,500票	484	32.3%
65歳以上の方	1,500票	638	42.5%
全体	3,000票	1,122	37.4%

## 【調査内容】

- ①個人属性等
- ②コミュニティ交通の利用意向（利用予定等）
- ③コミュニティ交通の運行による日常生活の変化
- ④コミュニティ交通の運行に対する考え
- ⑤公共交通（コミュニティ交通含む）に関する意見

# アンケートで提示した運行計画(案)

以下の運行計画(案)を提示した上で、「利用の有無(時期)」「利用目的」「乗降する停留所」「利用頻度」「利用時間」等を回答していただいた。



運行車両	ワゴン車(運転手含む10人乗り) 1台で運行
運行時間	午前8時30分~午後5時台 (午後2時30分から午後4時まで運休)
運行日数等	週5日 1日13便(約35分間隔)程度
運賃	220円(シルバーパス使用不可)
その他	反時計回りで運行し、祖師ヶ谷大蔵駅を起点に、商店街や砧まちづくりセンター、区立大蔵地区会館、総合運動場等を経由します。

# 回答状況(個人属性等)

【問1】 【問4】 【問5】 【問6】 回答者の属性

項目	18~64歳	65歳以上
性別	男性 35% 女性 64%	男性 40% 女性 59%
世帯構成	親と子 69% 夫婦のみ 17% 一人暮らし 9%	夫婦のみ 44% 一人暮らし 24% 親と子 22%
未就学児	いる 10%	いる 2%
職業	会社員 52% パート 16% 専業主婦(夫) 15%	無職 50% 専業主婦(夫) 22% 自営業 10%
自動車運転免許証	所持している 80% 所持していない 19% 返納予定 1%	所持している 34% 所持していない 40% 返納済み 17% 返納予定 8%

※1 世帯構成、職業については上位3位までの回答を記載しています。

※2 端数処理等の関係上、割合欄(%)の計が100%とならない場合があります。

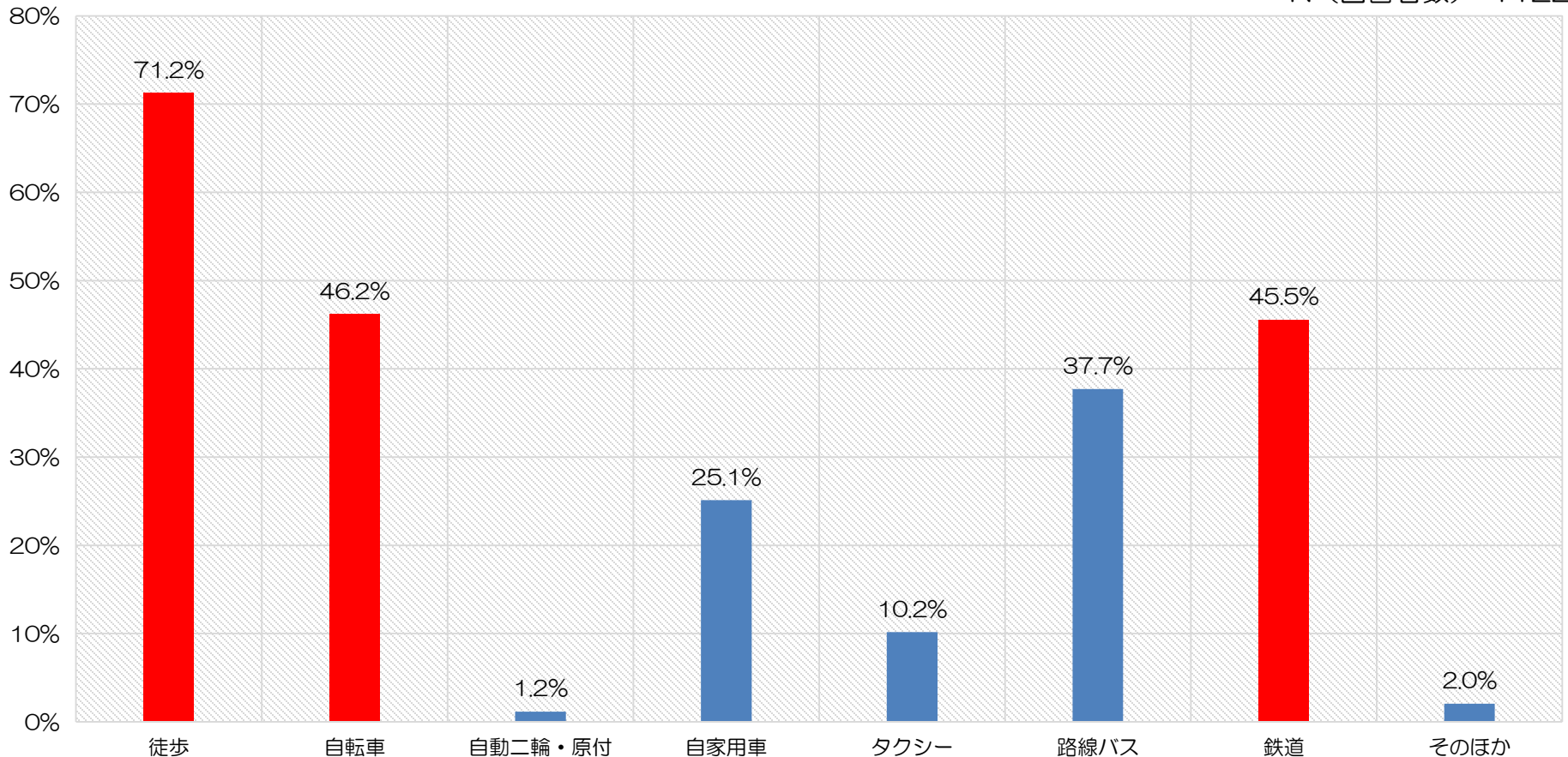


# 回答状況(個人属性等)

日常で利用する移動手段は、徒歩と回答した方が最も多く、ついで鉄道、自転車の回答が続く。

【問7】 日常生活の中で、よく利用する移動手段を教えてください。(複数回答可)

N(回答者数) = 1122

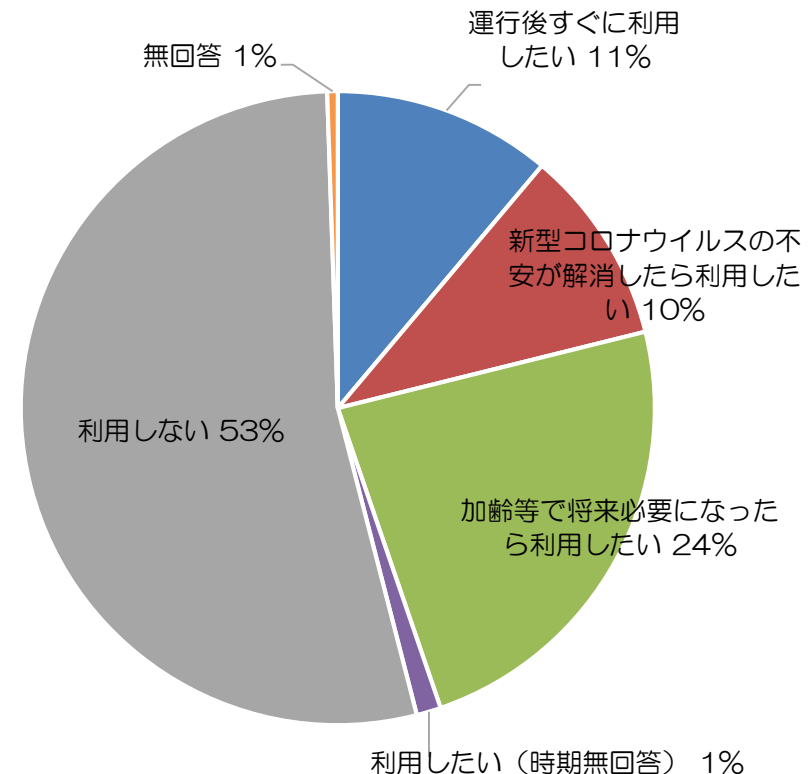


# 回答状況(コミュニティ交通の利用意向)

半数弱の方が「利用したい」と回答しており、「運行後すぐ利用したい」、「新型コロナウイルスの不安が解消したら利用したい」の回答がそれぞれ約1割、「将来的に利用したい」の回答が約2割となっている。

【問8】 運行計画（案）が運行された場合、利用しますか。  
（「利用したい」を選んだ方は利用時期も回答）

利用意向		票数
利用したい	運行後すぐ	125票
	新型コロナウイルスの不安が解消したら	112票
	加齢等で将来必要になったら	265票
	未回答	14票
利用しない		600票
無回答		6票
計		1,122票



# 回答状況(コミュニティ交通の利用頻度:平日)

平日の利用頻度をみると、買い物目的では週1～2回の利用が全体の約7割、通院目的では月に1～2回の利用が全体の約8割近くを占める。また、「買い物」目的の回答が最も多い。

【問9】平日の利用頻度（目的別）

利用目的		買い物	通院	その他	
回答票数		193票	88票	141票	
利用頻度	週に	1日	29%	15%	23%
		2日	39%	5%	18%
		3日	13%	1%	13%
		4日	2%	1%	2%
		5日	3%	0%	3%
	月に	1日	5%	56%	17%
		2日	6%	22%	21%
		3日	3%	1%	2%

# 回答状況(コミュニティ交通の利用頻度:土休日)

土休日の利用頻度をみると、月に1～2回での利用が多い。また、「その他」目的の回答が最も多い。

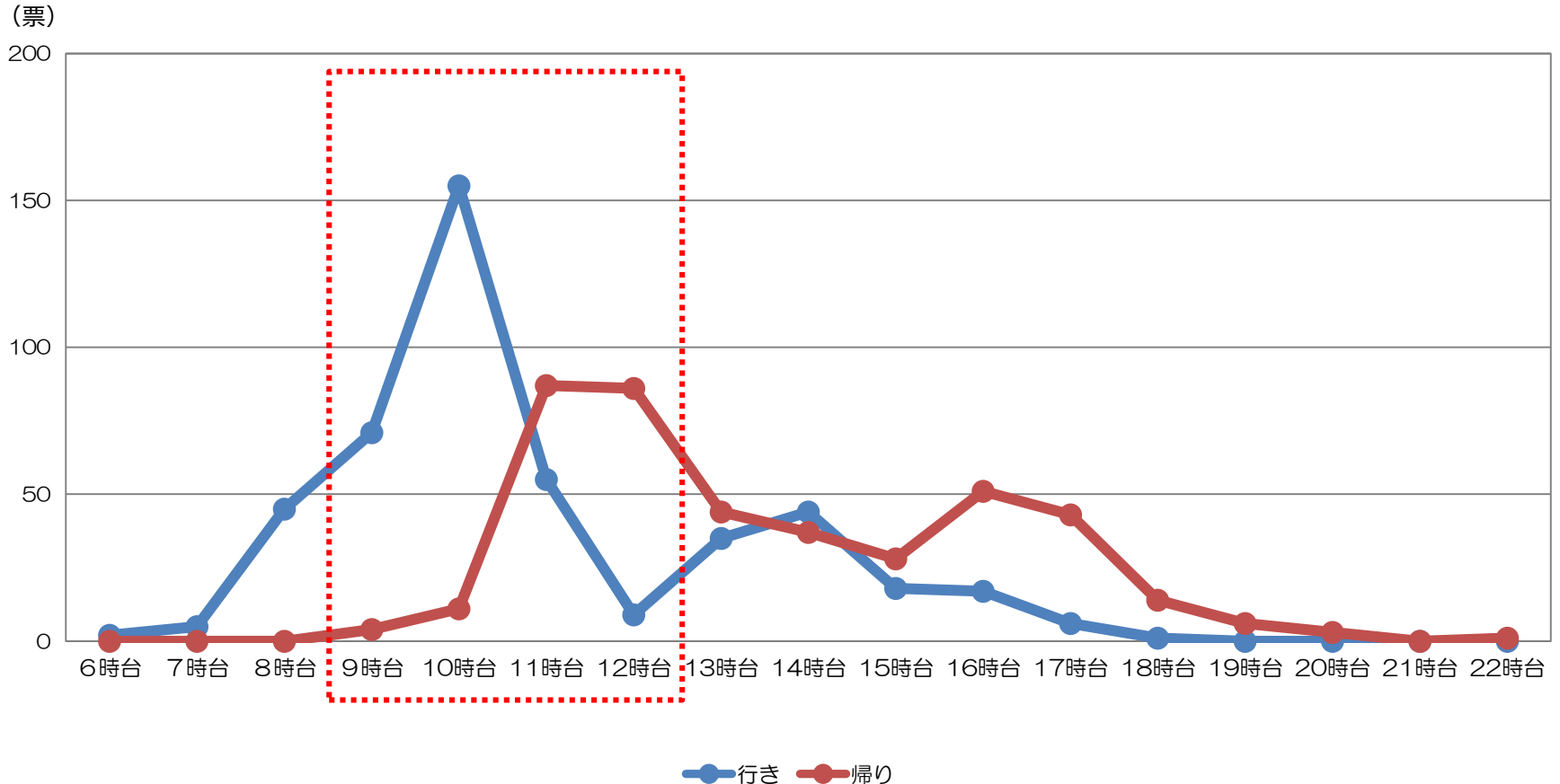
## 【問9】土休日の利用頻度（目的別）

利用目的		買い物	通院	その他	
回答票数		66票	9票	94票	
利用頻度	週に	1日	23%	11%	20%
		2日	3%	11%	2%
	月に	1日	18%	44%	23%
		2日	38%	11%	48%
		3日	18%	22%	6%

# 回答状況(コミュニティ交通の利用時間:平日)

平日の利用時間を見ると、行きのピーク時間は10時台、帰りのピーク時間は11時～12時台となっている。

## 【問9】 平日の利用時間



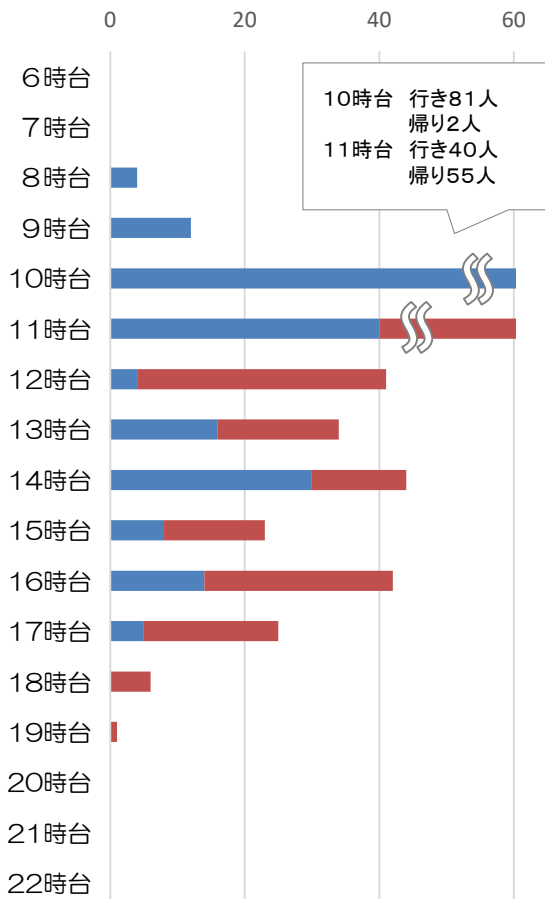
※ 運行時間外の回答も表示しています。

# 回答状況(コミュニティ交通の利用時間:平日)

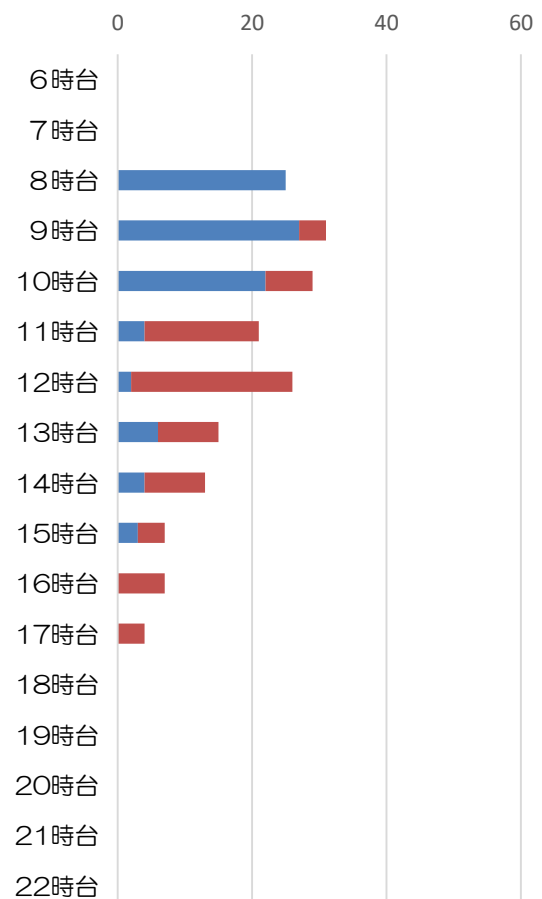
目的別に見ると、8時～9時台の利用は「通院」「その他」が多く、10時～11時台は「買い物」利用のピーク時間となっている。

## 【問9】平日の利用時間（目的別）

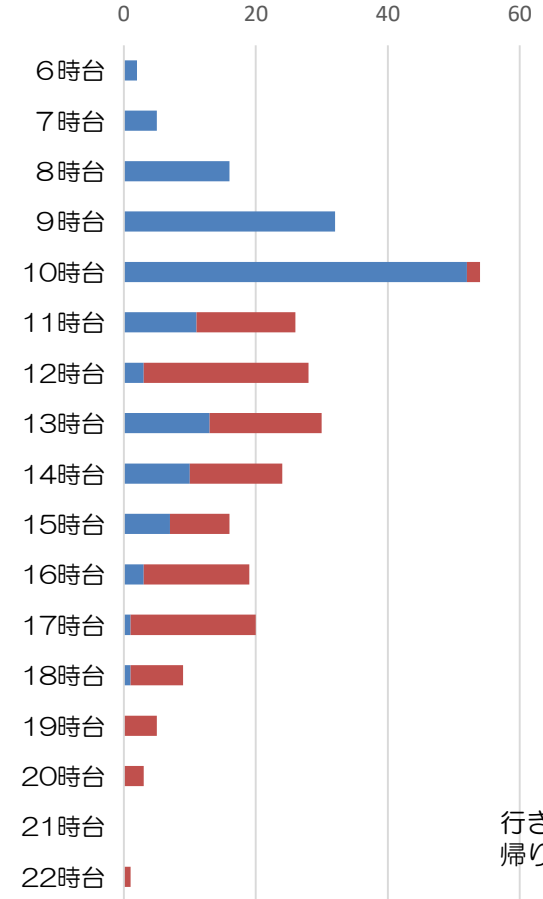
買い物



通院



その他

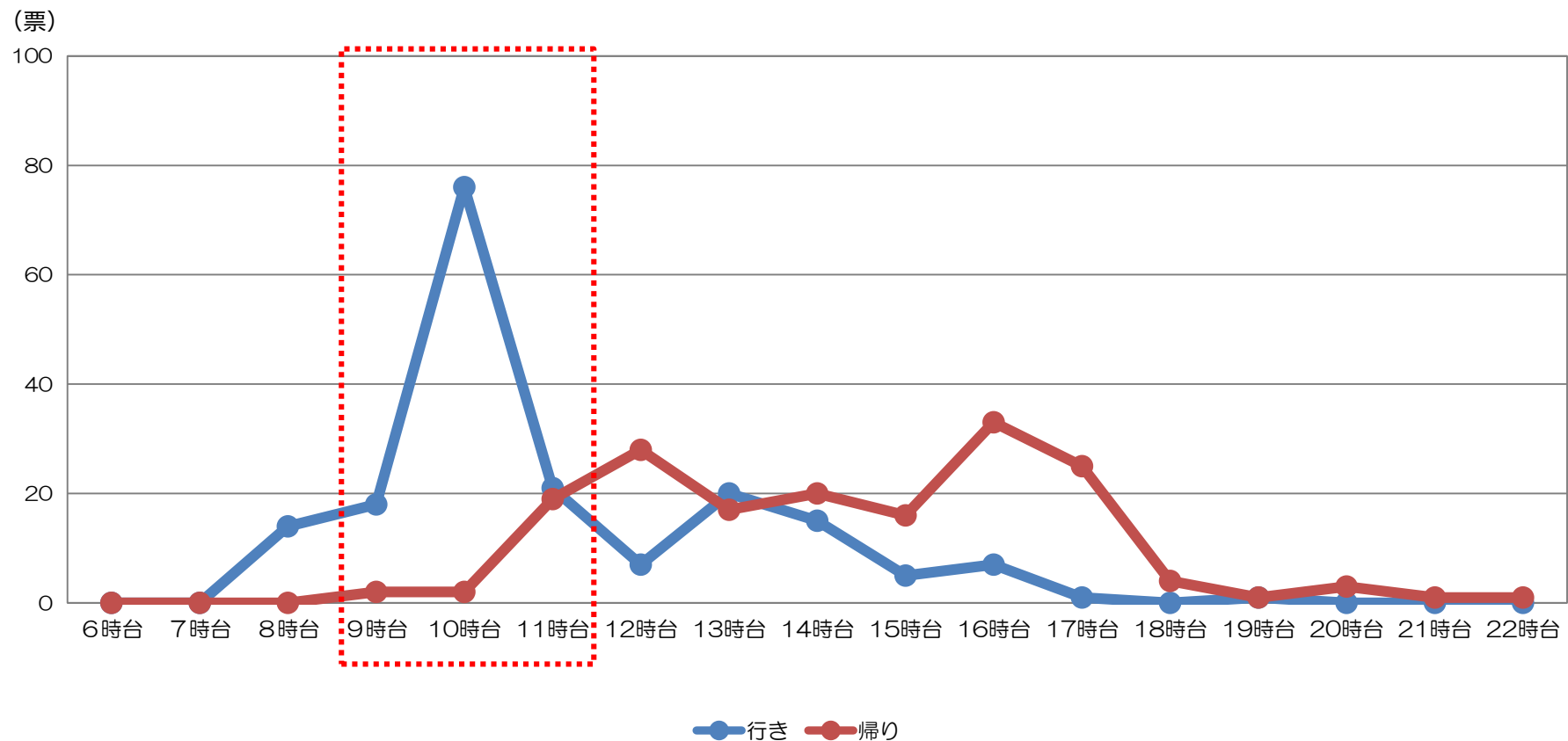


行き  
帰り

# 回答状況(コミュニティ交通の利用時間:土休日)

土休日の利用時間を見ると、平日と同様に往きのピーク時間は10時台である一方で、帰りの利用時間は平日と比べると分散傾向にある。

## 【問9】土休日の利用時間

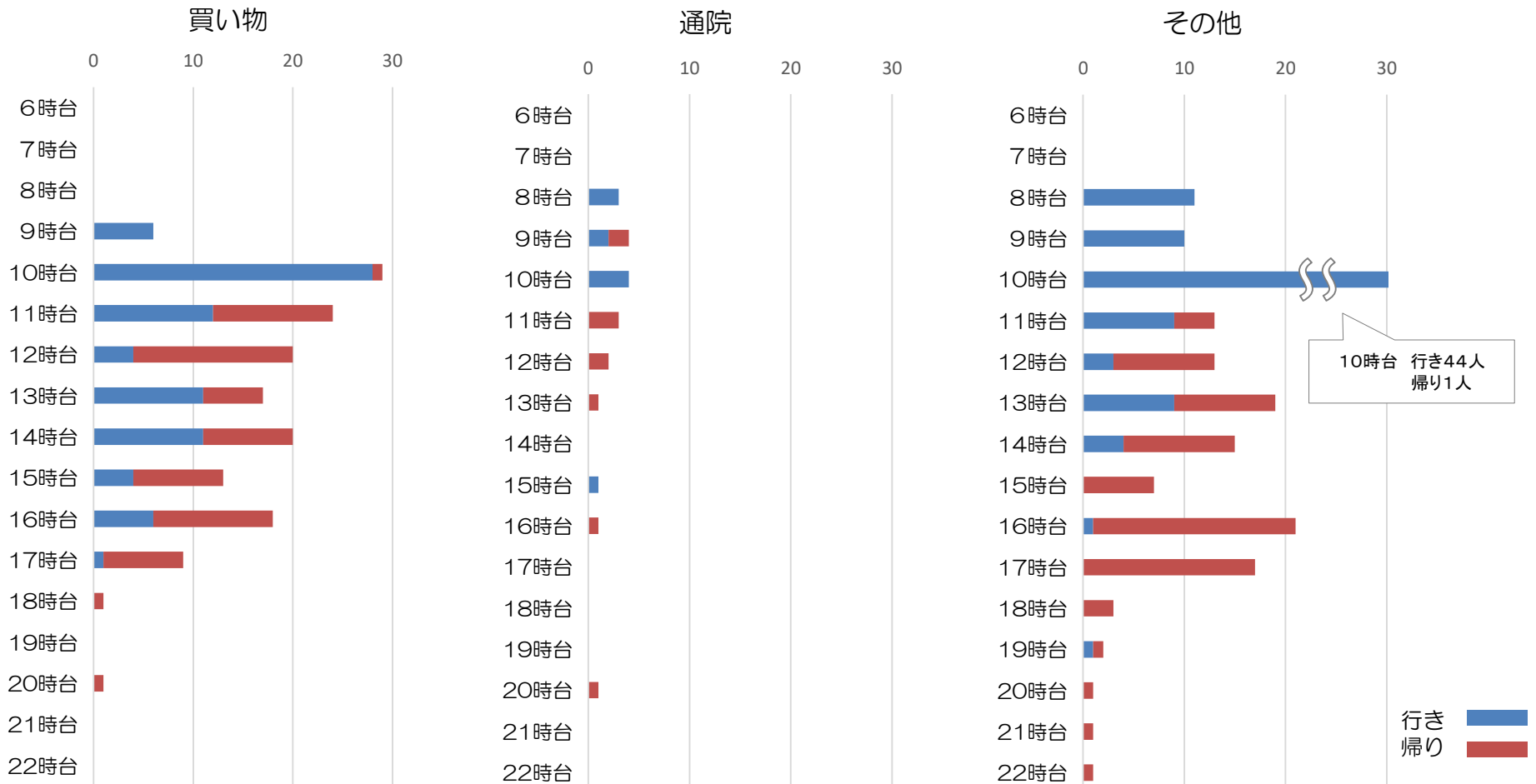


※ 運行時間外の回答も表示しています。

# 回答状況(コミュニティ交通の利用時間:土休日)

目的別に見ると、10時台の「その他」利用が最も多い。  
利用時間は、平日と同様の傾向がある。

## 【問9】土休日の利用時間（目的別）



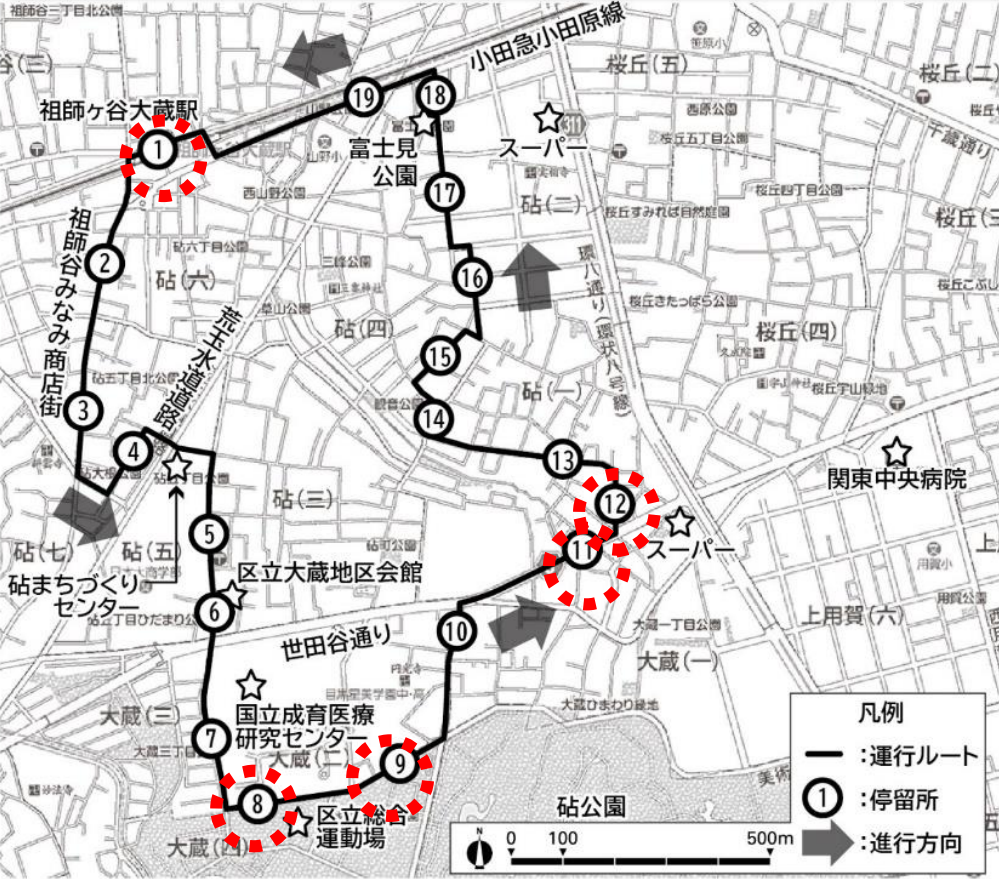


# 回答状況(コミュニティ交通の利用停留所:平日)

## 【問9】平日の利用停留所(目的別)

平日の利用停留所を見ると、駅前に近い①停留所の利用が最も多い。「その他」目的では総合運動場に近い⑧⑨停留所、「買い物」目的では⑪⑫停留所が利用されている。

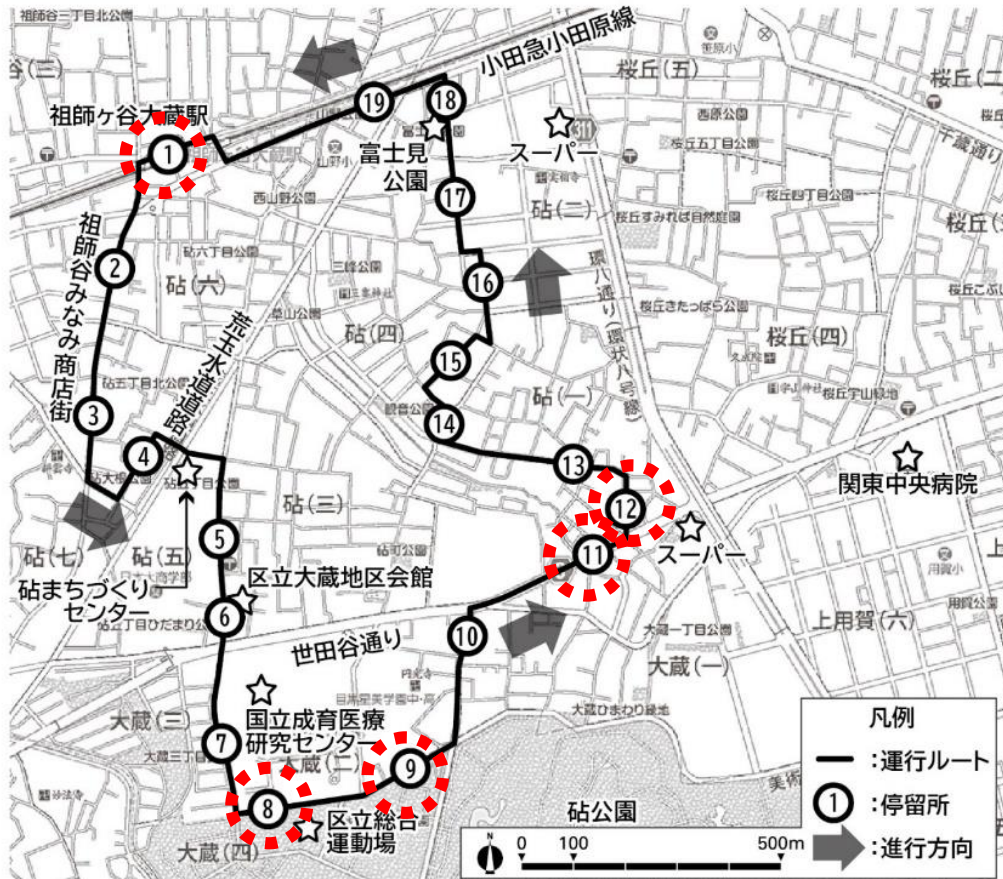
停留所 番号	乗車・降車	買い物		通院		その他	
		行き	帰り	行き	帰り	行き	帰り
1	乗車	14	107	18	39	28	67
	降車	123	12	40	16	85	23
2	乗車	10	29	3	3	12	1
	降車	24	11	3	2	3	10
3	乗車	9	7	6	1	10	3
	降車	4	10	1	6	2	7
4	乗車	6	0	1	2	7	3
	降車	1	8	1	2	4	6
5	乗車	14	1	4	2	9	1
	降車	0	16	1	3	1	9
6	乗車	4	1	2	5	2	3
	降車	3	5	10	2	4	4
7	乗車	12	1	7	8	3	0
	降車	3	11	6	6	1	4
8	乗車	1	1	0	0	1	33
	降車	1	2	0	0	42	0
9	乗車	5	2	1	1	1	27
	降車	1	3	2	1	22	1
10	乗車	12	0	6	4	10	4
	降車	0	12	4	5	2	11
11	乗車	22	22	7	8	12	1
	降車	28	20	14	7	1	9
12	乗車	9	20	2	11	6	1
	降車	20	8	8	2	1	6
13	乗車	15	0	5	0	11	0
	降車	0	15	0	4	0	6
14	乗車	29	1	8	0	17	0
	降車	1	25	0	7	0	13
15	乗車	7	0	1	2	9	0
	降車	0	4	2	1	0	6
16	乗車	16	0	12	1	9	0
	降車	0	10	1	7	0	7
17	乗車	15	4	8	0	10	2
	降車	3	12	1	7	2	8
18	乗車	8	0	2	0	9	1
	降車	1	8	2	4	1	7
19	乗車	7	2	3	0	5	1
	降車	2	6	0	5	0	11



# 回答状況(コミュニティ交通の利用停留所:土休日)

## 【問9】土休日の利用停留所(目的別)

土休日の利用停留所についても、平日と同様の傾向がある。



停留所 番号	乗車・降車	買い物		通院		その他	
		行き	帰り	行き	帰り	行き	帰り
1	乗車	12	34	1	3	18	44
	降車	39	9	2	1	45	18
2	乗車	8	8	1	0	3	0
	降車	12	7	0	1	0	2
3	乗車	4	5	0	1	6	0
	降車	2	4	1	0	0	4
4	乗車	2	0	1	0	3	0
	降車	0	2	0	2	0	3
5	乗車	6	0	1	0	4	0
	降車	0	7	0	1	0	4
6	乗車	2	1	0	3	1	2
	降車	1	1	3	0	2	2
7	乗車	5	1	0	0	3	0
	降車	1	5	0	0	0	3
8	乗車	1	1	0	0	0	24
	降車	1	2	0	0	30	1
9	乗車	2	1	0	0	0	26
	降車	1	2	0	0	24	2
10	乗車	5	0	1	0	8	2
	降車	0	4	0	1	2	7
11	乗車	6	17	1	2	11	0
	降車	20	6	2	1	0	12
12	乗車	3	8	0	0	3	0
	降車	7	3	0	0	0	3
13	乗車	5	0	0	0	3	0
	降車	0	4	0	0	0	4
14	乗車	8	0	1	0	5	0
	降車	0	8	0	1	0	5
15	乗車	2	0	0	0	6	0
	降車	0	2	0	0	0	3
16	乗車	6	0	1	0	8	0
	降車	0	4	0	1	0	6
17	乗車	4	4	1	1	9	0
	降車	4	2	1	1	0	8
18	乗車	5	0	0	0	9	1
	降車	0	4	0	0	0	7
19	乗車	2	0	0	0	3	0
	降車	0	4	0	0	0	5

# 回答状況(コミュニティ交通の主な行き先)

○買い物目的での行き先（上位5位）

行き先	回答数	
	平日	土休日
オオゼキ祖師谷大蔵店	50	13
サミットストア 砧店	43	23
Odakyu OX 祖師谷店	37	13
オオゼキ砧店	27	10
商店街（駅北側）	11	5

# 回答状況(コミュニティ交通の主な行き先)

○通院目的での行き先（上位5位）

行き先	回答数	
	平日	土休日
公立学校共済組合 関東中央病院	34	3
祖師ヶ谷大蔵駅	13	0
幸野メディカルクリニック	12	0
診療所等	10	1
国立成育医療研究センター	6	0

# 回答状況(コミュニティ交通の主な行き先)

○その他目的での行き先（上位5位）

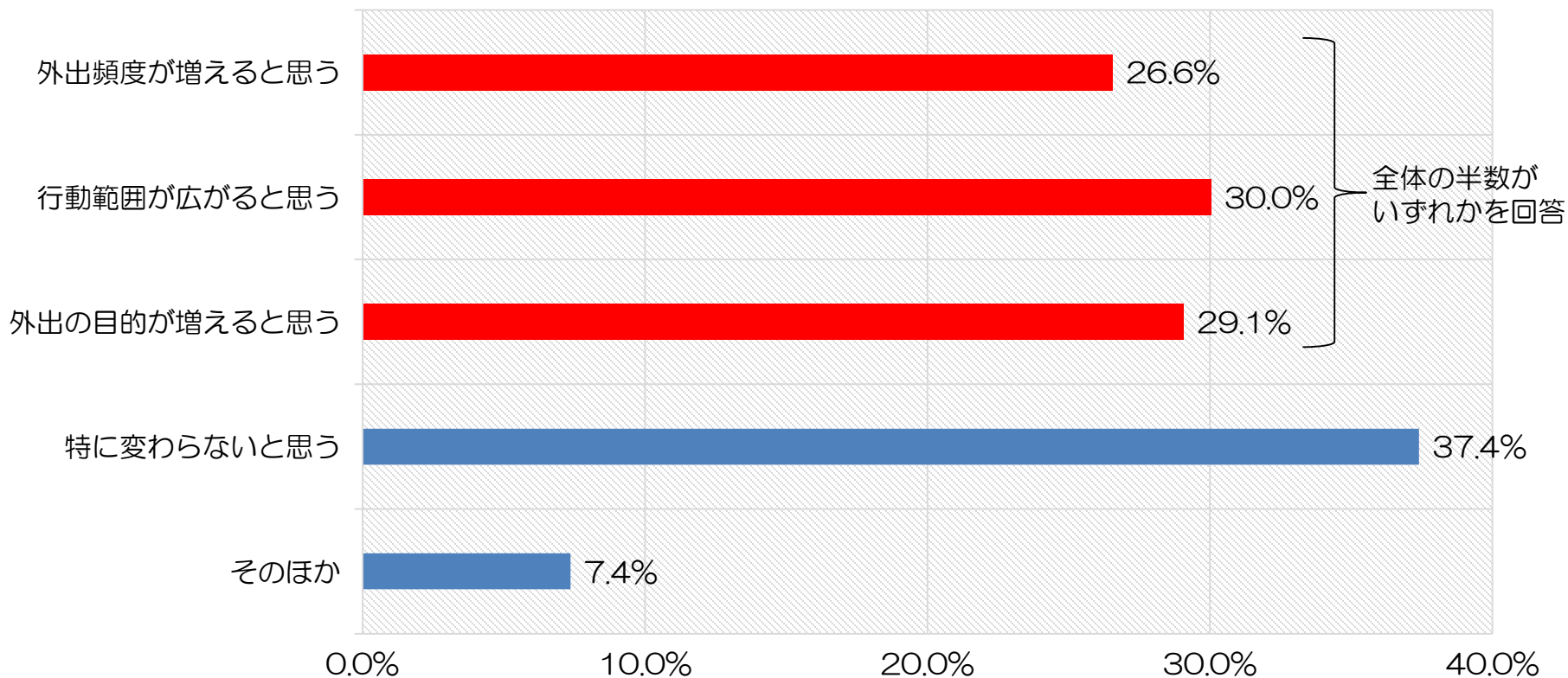
行き先	回答数	
	平日	土休日
祖師ヶ谷大蔵駅	66	40
世田谷区総合運動場	51	34
砧公園	14	22
砧まちづくりセンター	4	0
銀行	4	0

# 回答状況(日常生活の変化)

「利用する」と回答した方のうち、半数以上がコミュニティ交通の運行により日常生活が変化すると回答している。

【問10】「利用する」を選んだ方にお聞きします。コミュニティ交通が運行されることによってあなたの日常の外出や行動範囲はどのように変わるとお考えですか。（複数回答可）

N(回答者数) = 516

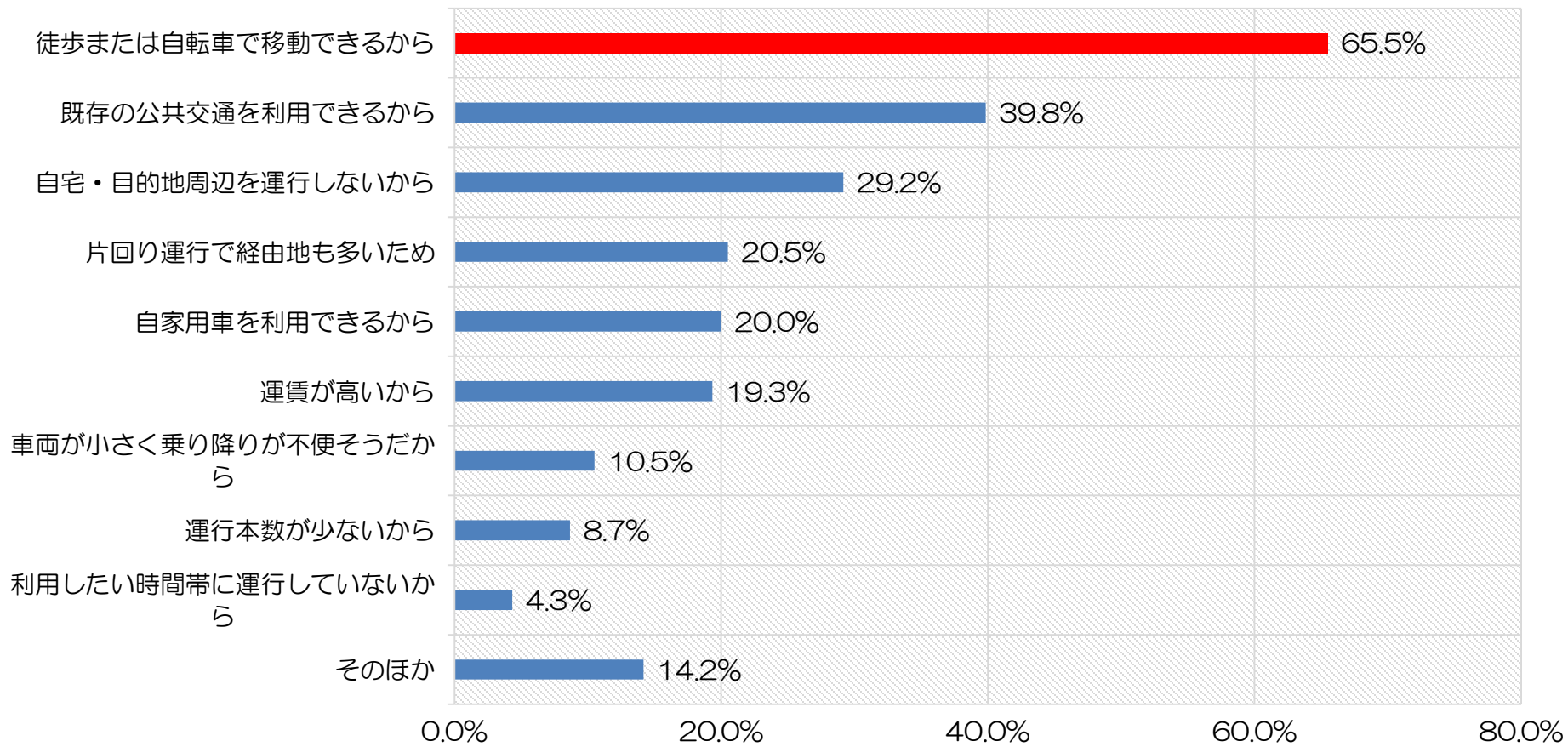


# 回答状況(コミュニティ交通を利用しない理由)

コミュニティ交通を利用しない理由としては、「徒歩または自転車で移動できるから」と回答した方が最も多い。一方で、「利用したい時間帯に運行していないから」と回答した方は全体の4.3%に留まる。

【問11】「利用しない」を選んだ方にお聞きします。コミュニティ交通を利用しない理由を教えてください。（複数回答可）

N(回答者数) = 600

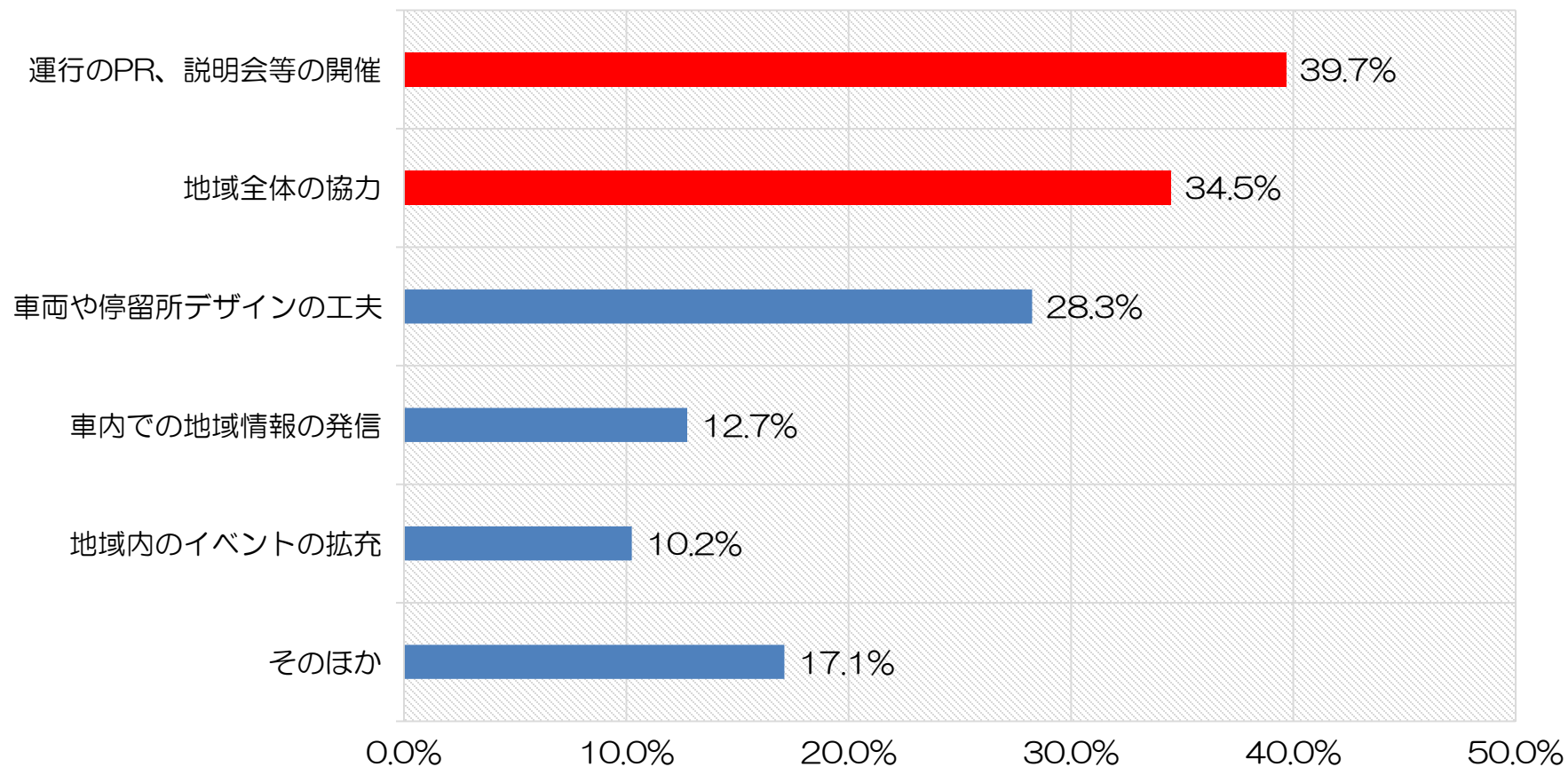


# 回答状況(運行に対する考え)

コミュニティ交通が運行された際、多くの方に利用いただくために大切だと思ふことについて「運行のPRや説明会等の開催」と回答した方が最も多く、ついで「地域全体の協力」が続く。

【問12】 運行計画(案)のコミュニティ交通が運行された場合、より多くの方にご利用いただくために大切だと思ふことを教えてください。(複数回答可)

N(回答者数) = 1122

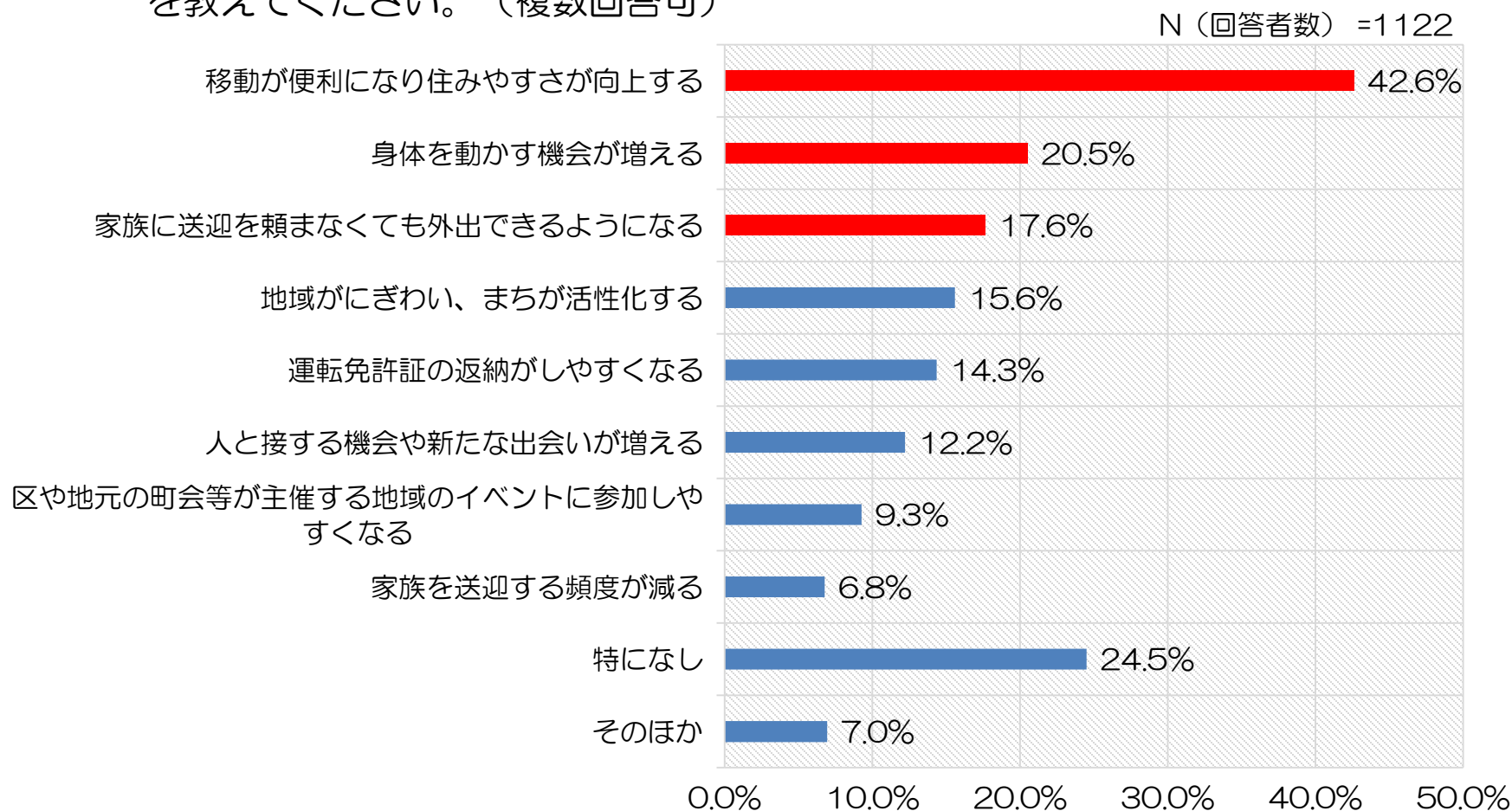




# 回答状況(日常生活の変化)

期待する効果としては「移動が便利になり住みやすさが向上する」を選んだ方が最も多い。ついで、「身体を動かす機会が増える」や「家族に送迎を頼まなくても外出できるようになる」等の回答が続く。

【問13】 運行計画（案）のコミュニティ交通が運行されることにより、あなたが期待する効果を教えてください。（複数回答可）

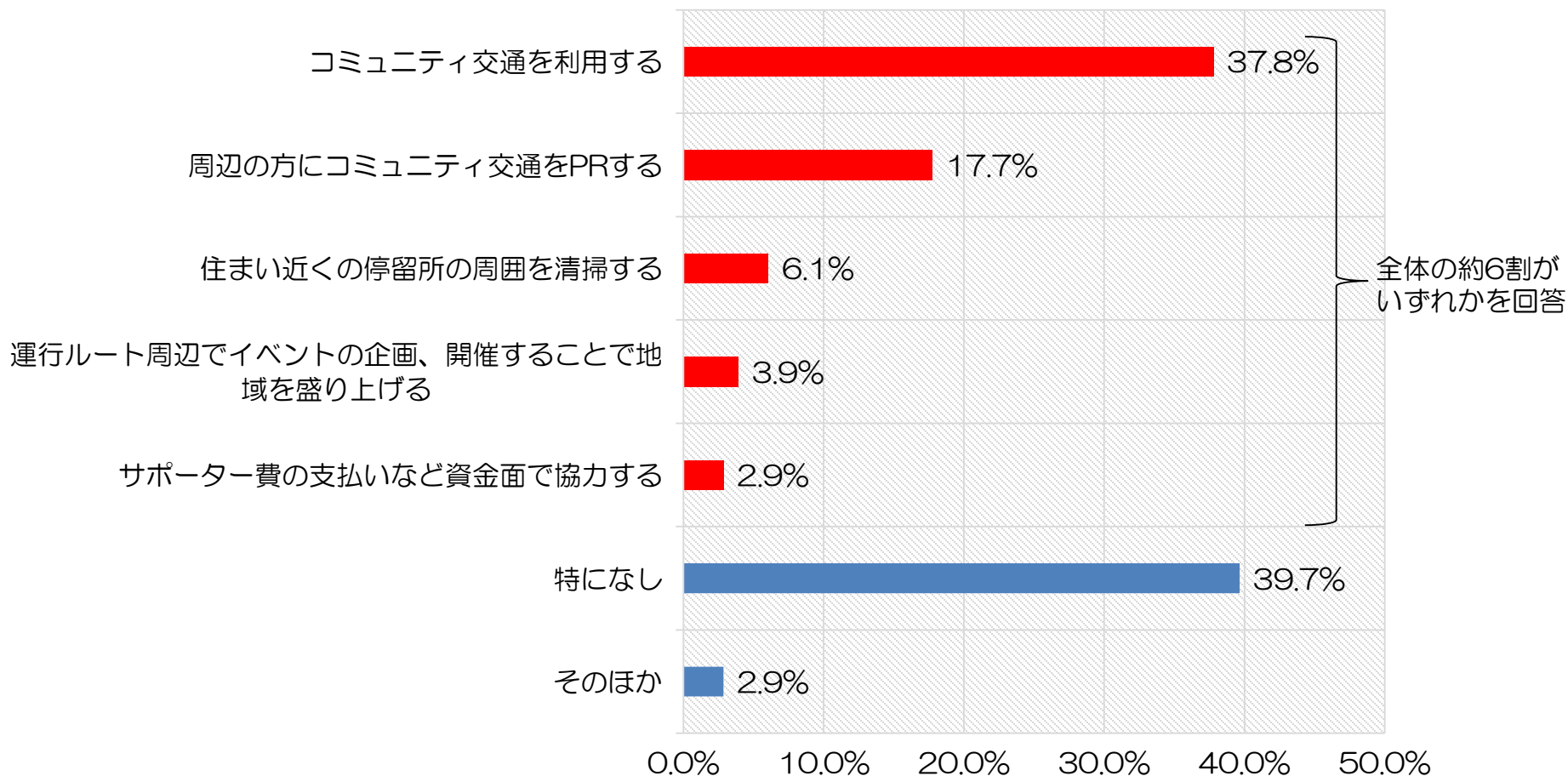


# 回答状況(運行に対する考え)

協力できると思うことについて、約6割が何らかの協力ができると回答。

【問14】あなたが地域のサポーターとして、コミュニティ交通の運行に協力できると思うことを教えてください。(複数回答可)

N(回答者数) = 1122

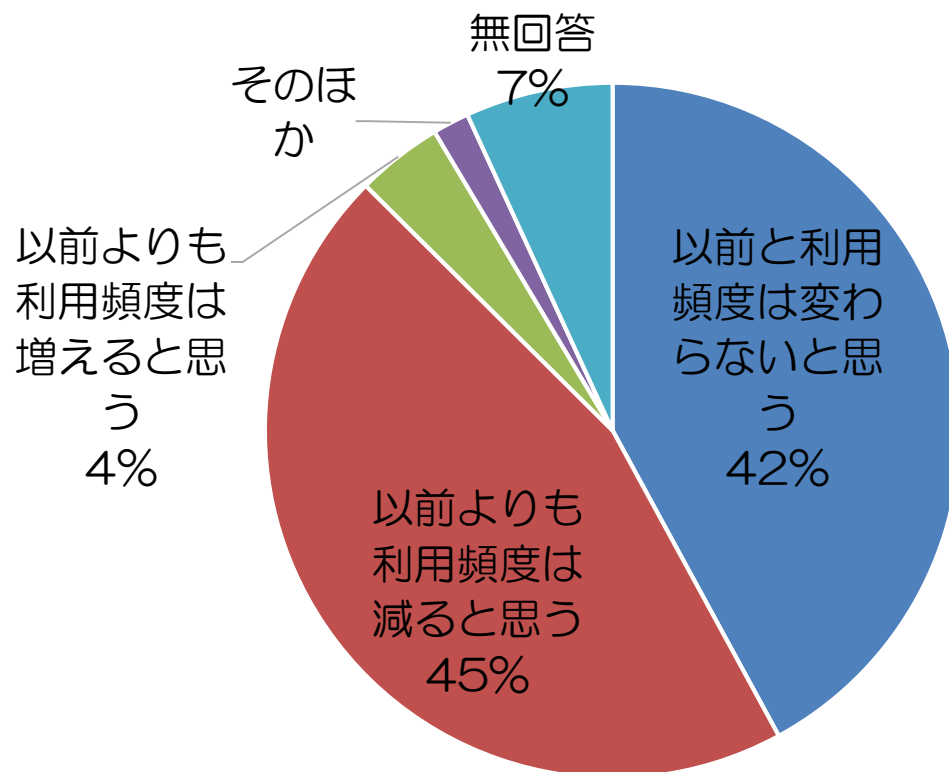


# 回答状況(公共交通に関する意見)

新型コロナウイルスの発生を受けた今後の公共交通の利用頻度について、「以前と変わらない」との回答が約4割である一方、「以前よりも減ると思う」との回答も同程度見受けられる。

【問15】新型コロナウイルスの発生を受け、あなたの公共交通機関の利用頻度はどのように変わるとお考えですか。

選択肢	票数
以前と利用頻度は変わらないと思う	472票
以前よりも利用頻度は減ると思う	509票
以前よりも利用頻度は増えると思う	45票
そのほか	19票
無回答	77票
合計	1,122票



## ②.利用者数の予測結果

# 利用者数の予測結果(日あたりの利用者数)

日あたりの利用者数を見ると、平日は「買い物」利用が、土休日は「その他」利用が多い。  
 全体の利用者数を平日と土休日で比べると、平日の方が利用者数が多い。

## ○平日

(人/日)

	買い物	通院	その他	合計
65歳以上	23.0	6.0	11.1	40.1
18~64歳	43.2	1.6	27.5	72.3
合計	66.2	7.6	38.6	112.4

## ○土休日

(人/日)

	買い物	通院	その他	合計
65歳以上	8.8	0.5	8.7	18.0
18~64歳	21.1	3.4	35.8	60.3
合計	29.9	3.9	44.5	78.3

※利用意向における「運行後すぐに利用したい」の回答を予測のサンプルとして抽出  
 顕在化率は10%で予測

# 利用者数の予測結果(年間の利用者数及び収支率)

平日は週4日、土日祝は週1日の計5日の運行を想定すると、定員8名を想定した場合は、実証運行移行基準として設定した収支率30%を上回る結果(収支率34.5%)となった。

新型コロナウイルス感染症の感染状況が予断を許さない中、安心して乗車できるよう、感染症対策が必要である。

そのため、乗車定員5名とした場合の年間利用者数等も参考に算出した。

	日利用者数 (人/日)	運行日数 (日)	年間利用者数 (人/年)	運賃 (円)	収入 (円/年)
平日	89.4	196	17,522	220	3,854,840
土休日	70.3	65	4,570		1,005,400
合計	-	261	22,092		4,860,240

乗車定員の制限を行った場合の利用者予測	乗車定員	年間利用者数 (人/年)	運賃収入① (円/年)	運行経費② (円/経費)	収支率 (①/②)
	8名	22,092	4,860,240	14,100,000	34.5%
	5名	15,270	3,359,400	14,100,000	23.8%

## ③.令和3年度実証運行の見送り

# 令和3年度の実証運行について

感染症対策（乗車定員の制限）を行った場合、実証運行移行の基準として設定した収支率30%を下回る予測結果となりました。このため、新型コロナウイルスに関する見通しが不透明な状況下で実証運行を行い、継続運行の可否等を判断するのではなく、他の旅客運送事業における感染症対策の動向や、区内におけるワクチン接種状況等を一定程度を踏まえた後に実証運行を行う必要があるものと考えました。

については、区の財政状況等を踏まえ、令和3年度の実証運行を見送り、令和4年度の実証運行に向けた検討を行うこととします。